

本龍寺本堂落慶記念曲

弘誓のちからをかぶらずは

親鸞聖人 和讃 〈 高僧和讃・善導大師 〉

平田聖子 作曲



いりもやしゆもく 入母屋撞木屋根 流れ向^{ごはい}拝付 木造本堂

間口7間×奥行11間 ※1間=192cm

※建築面積 = 522.357m² = 158.013坪

※雨落^{あまおち}面積 = 621.968m² = 188.145坪

平成30(2018)年12月5日 御本尊^{げんざしき}還座式〈入仏法要〉

本龍寺本堂落慶記念曲

弘誓のちからをかぶらずは

親鸞聖人 和讃 〈 高僧和讃・善導大師 〉

平田聖子 作曲



聖子
2018. 8. 31

真宗大谷派 泉流山 本龍寺

記念曲とともに

この度、積年の願いでありました本堂建立が成就されましたこと、ご協力ご尽力賜りましたすべての方々に厚く御礼申し上げます次第です。

本堂建設事業において、本龍寺として大切にしてきたことは、多くの方々に関わって頂き、少しずつでもそれぞれの役割を担って下さる中で、総体の意思として「私たちのお寺」を造って頂くことでした。

そのため、御本尊動座式では焼香はもちろん、御身拭の儀も参列者全員で行いました。建設起工式では全員で地鎮の儀を行い、建設上棟式でも全員で紅白の綱を引きました。

一方、親鸞聖人のお言葉に旋律をつけ唱和するという点で、真宗大谷派の声明と和讃曲を歌うことは同義であると考えます。声明では僧侶が中心になることが多いですが、仏教讃歌では歌う一人ひとりが主人公です。お寺の諸行事に合唱を採り入れるのは、少しでも多くの方々を作り上げる私たちのお寺の仏事にしたいと願うからです。

本龍寺にとって本堂落慶記念のこの曲は、お寺にみんなで参加というより皆さんに参画してもらおうという大きな役割があります。法会に集った方々が親鸞聖人のお言葉を、そして何より、お念仏の声を調和させるたびに願って欲しいのです。この時代に建立された本堂を、教えに触れて元気がもらえる念仏の道場に自分たちで育てていくことを。そして、その願いを世代を超え時代を超えて、後世にきちんと相続されていくことを。

日ごろの歌唱と和讃の味わいへのお導きに加えて、今回の本堂落慶を縁にした、和讃の選定から作曲までの記念曲作りに、多大なご尽力を賜りました平田聖子先生に、あらためて厚く御礼申し上げます。

本龍寺 第26世住職 樋口祐慈

「弘誓のちからをかぶらずは」に寄せて… 作曲家 平田聖子

「弘誓のちから」とは、阿弥陀如来の衆生救済の働きのことです。「ちから」は働きのことです。阿弥陀如来は、衆生を「南無阿弥陀仏」を称える念仏者に育て、その念仏者を、煩惱を滅した仏の悟りの世界に必ず生まれさせると誓われ、今現在も、働き続けていらっしゃるのです。親鸞聖人はこの和讃で、「この阿弥陀如来の働きを被らなかつたら、永遠に娑婆を出られなかつた。地獄に落ち、輪廻し続けていたことよ。ああ、阿弥陀如来の弘誓のちからで救われました。なんと嬉しいことでしょう。」と感嘆され、阿弥陀如来を讃えていらっしゃいます。私はこの感嘆を、音楽でたっぷりと繰り返して表現しました。そして聖人は、「この慶びをいただいた上は、阿弥陀如来への御恩を深く思いつつ、つねに阿弥陀如来を念ずべし。」と言われます。これは、「念仏をしなさい」ということです。「南無阿弥陀仏を称えなさい」ということです。落慶されました本堂には、「念仏の道場にしたい」という住職の願いがかけられていると伺いました。この願いを受けて、私は、本堂じゅうの参詣の皆さんと一緒に、「南無阿弥陀仏」が歌える曲を作曲しました。この念仏の歌が、大勢の参詣の皆さんで歌われる日を楽しみにしております。 南無阿弥陀仏。

作曲家 平田聖子先生 プロフィール

愛知県立芸術大学音楽学部作曲科卒業。昭和60年度文化庁舞台芸術創作奨励賞受賞。日本女性作曲家連盟会員。器楽曲から歌曲に亘るまで、聴衆に親しまれるその作品は、着実に演奏家たちの新しいレパートリーとなっている。また、1995年より親鸞の世界に作曲することをライフワークとしている。作品は日本の宗教曲としてコンサートホールや海外でも演奏されている。2013年には講演「親鸞を音楽で」がNHKラジオ第2放送「文化講演会」で放送された。2012年より、コンサート「親鸞が音楽で現代に甦る。作曲家平田聖子の世界」を開催。第1回目の2012年は名古屋しらかわホール、第2回目の2015年は愛知芸文コンサートホール、第3回目となる今年2018年は、京都コンサートホール大ホールにて、親鸞和讃曲集「釈迦弥陀は慈悲の父母」出版記念として開催。共に室内楽曲、オルガン曲、歌曲、合唱曲など平田作品ばかりで「親鸞の世界」を音楽で表現した。演奏会最後には、全国から集まった320人の合唱が舞台上がり、親鸞和讃曲を歌い、圧巻であった。

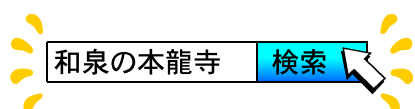
作品：混声合唱組曲「星の美しい村」、「水のこころ・出逢い」（各曲ともカワイ出版刊行）、マリンバとピアノのための「カキクツケコ」（共同音楽出版刊行）、親鸞和讃曲集「本願力にあいぬれば」、「釈迦弥陀は慈悲の父母」、教行信証と和讃による「慶ばしいかな」、蓮如上人御文「聖人一流章・白骨章」（楽譜は法蔵館より出版、CDはカメラータ・トウキョウよりリリースされている）他多数。

発行者



真宗大谷派 本龍寺

〒444-1221 愛知県安城市和泉町中本郷41
TEL.0566-92-0505 FAX.0566-92-5212
HP〈ホームページ〉 <http://www.honryuji.net>
E-mail honryuji@poplar.ocn.ne.jp



2019.11.1初版

日本音楽著作権協会(出)許諾
第1911689-901号

楽譜・音楽書等出版物を複写、複製することは
法律により禁じられております

